

少数台数のリコール届出の公表について (平成22年5月分)

リコール対象が少数である100台未満の届出について、平成22年5月は6件の届出がありましたので、公表します。

1. 届出者：株式会社小松製作所

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
5月14日	2532	車名：コマツ 型式：SC-GD013A 通称名：GD655-3	25	平成18年8月8日～ 平成19年11月29日
不具合の部位等	大容量オルタネータ装着車の充電回路において、装着されているヒューズの容量が不足しているため、当該ヒューズが切れ、バッテリーが充電できなくなる場合がある。そのため、そのまま使用を続けると、原動機が停止し再始動できなくなるおそれがある。			

2. 届出者：ボルボ・カーズ・ジャパン株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
5月24日	外1668	車名：ボルボ 型式：CBA-CB6324W 通称名：ボルボXC90	20	平成21年12月23日～ 平成22年3月1日
不具合の部位等	車体下回りに配管されている燃料圧力パイプの製造工程において、当該パイプ内側に突起物が生成されたものがある。そのため、当該パイプとクイックリリースコネクタの接続部の密着が悪く、燃料がにじみ出ることがあり、最悪の場合、火災に至るおそれがある。			

3. 届出者：アウディジャパン株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
5月27日	外1671	車名：ランボルギーニ 型式：ABA-BE537 通称名：ランボルギーニムルシエロ LP640	89	平成18年7月14日～ 平成20年6月10日
不具合の部位等	燃料タンク底部と燃料ポンプ固定プレートの溶接が不適切なため、当該プレートの取り付け強度が不足しているものがある。そのため、走行中の振動等による燃料の揺れにより、当該プレートの溶接部が剥がれ、燃料タンク底部の溶接部から燃料が漏れるおそれがある。			

【参考】平成22年5月のリコール届出総件数

		内 訳	
		対象台数 100 台以上	対象台数 100 台未満
国産車	16件	12件	4件
輸入車	6件	4件	2件
計	22件	16件	6件

※リコール届出番号 2536、2537 及び 2542 は公表済みのため、本公表には含まれていません。